

列島が一つになって追うゴール

坪郷 英美子

万札について行きそなレジの前

田中 たづ子

幸せは周囲に笑顔増やすこと

磯部 佳子

生きて行く過疎に労る大地あり

竹本 タエ子

ゆったりと自分の彩で生きていく

寺畑 俊子

れっとうがひとつになっておうごーる

つぼごう えみこ

まんさつについていきそなれじのまえ

たなか たづこ

しあわせはしゅういにえがおふやすこと

いそべ よしこ

いきてゆくかそにいたわるだいちあり

たけもと たえこ

ゆったりとじぶんのいろでいきっていく

てらはた としこ

虹消えてまたちりぢりに鬼ごっこ

林 保江

白百合や病氣知らずの姉も逝き

金内 憲一

炎天や工事現場の赤信号

田中 孝利

郵便車青田の中を遠くなり

松井 正子

戦歴は聞かずじまひに父の日よ

林 美津江

にじきえてまたちりぢりにおにごっこ

はやし やすえ

しらゆりやびょうきしらずのあねもゆき

かねうち けんいち

えんてんやこうじげんばのあかしんごう

たなか たかとし

ゆうびんしゃあおたのなかをとおくなり

まつい まさこ

せんれきはきかずじまひにちちのひよ

はやし みつえ

短歌

何もかも進化するのが速すぎて
心や足がもつれてしゃがむ

山口 正子

ただ一羽巣立ちためらう小燕よ
母との時間一人占めして

賤間 星

花かづら甘き香りの蜜を吸ふ
幼の想出媪のひめごと

末永 敦子

「みどりの日」庭のよもぎも広がりにて
Aー頼りに草もち出来た

原田 たえ子

けさ庭に小さなひまわり咲いており
強い陽射しにつぼみが向かう

弘重 和恵

なにもかもしんかするのがはやすぎて
こころやあしがもつれてしゃがむ

やまぐち まさこ

たはいちわすだちためらうこつばめよ
ははとのじかんひとりじめして

ざいま せい

はなかづらあまきかおりのみつをすふ
おさなのおもいでおうなのひめごと

すえなが あつこ

「みどりのひ」にわのよもぎもひろがりて
えーあいたよりにくさもちできた

はらだ たえこ

けさにわにちいさなひまわりさいており
つよいひざしにつぼみがむかう

ひろしげ かずえ

自由律俳句

心の重荷吐く息に乗せてみる

寺山 玲子

崩れそうなダムゲートを開けた

岡村 裕司

歩いて歩いて早朝を味わう

林 陽子

めぐりそびれたカレンダーに追われている

松下 満江

久々に手を重ねてあいあい傘

田中 律子

こころのおもにはくいきにのせてみる

てらやま れいこ

くずれそうなだむのげーとをあけた

おかむら ひろし

あるいてあるいてそうちようをあじわう

はやし ようこ

めぐりそびれたかれんだーにおわれている

まつした みつえ

ひさびさにてをかさねてあいあいがさ

たなか りつこ

